



## **ASFALIS TransServer**

### **ユーザマニュアル**

株式会社エリジョン

2020年 8月

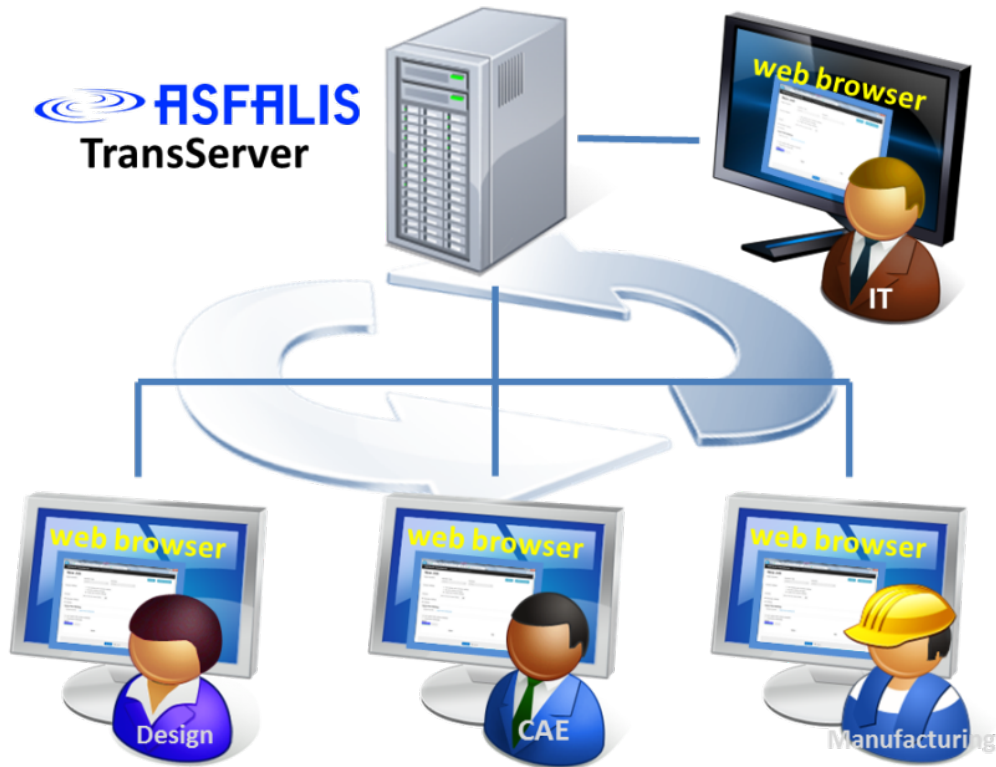
# 目次

1. 概要	1
1.1. ASFALIS TransServerとは	1
1.2. クライアントのシステム要件	2
1.3. 管理者とユーザの役割	2
1.4. 業務種別とオペレーションによるジョブ管理	3
2. クイックスタート	6
2.1. ログイン / ログアウト / ユーザ設定	6
2.1.1. ログイン	6
2.1.2. ログアウト	6
2.1.3. ユーザ設定	7
2.2. ジョブ実行	8
2.2.1. 新規ジョブの作成	8
2.2.2. 変換後ファイルのダウンロード	11
2.3. 入力ファイル設定	13
2.3.1. 「ローカルファイルアップロード」タブ	13
2.3.2. 「既存のファイルセットから選択」タブ	14
2.3.3. 「外部ファイルサーバより選択」タブ	14
2.3.4. 複数のジョブ入力を受け取るシナリオからジョブ投入する場合	15
2.4. 入力ファイル / アップロード対象ファイルの条件	16
2.4.1. モデルのアップロード (NX I-deas以外)	16
2.4.2. モデルのアップロード (NX I-deas)	18
2.4.3. アーカイブファイルのアップロード	19
3. 便利な機能の紹介	21
3.1. ジョブの投入方法	21
3.1.1. 新規にシナリオを設定する	21
3.1.2. 既存ジョブの設定を流用する	21
3.1.3. 既存ジョブをパラメータを変えて再実行する	23
3.2. ジョブの投入方法	25
3.2.1. オペレーションの作成	25
3.2.2. オペレーションモニタ	25
4. ユースケース	29
4.1. 抽出したファイルごとにシナリオを適用する	29
4.1.1. CATIA V5 to IGES変換の例	29

5. FAQ .....	31
--------------	----

# 1. 概要

## 1.1. ASFALIS TransServerとは



ASFALIS TransServerは、ASFALISをマルチユーザで共有利用するためのWEBベースのクライアントサーバシステムです。

本マニュアルではASFALIS TransServerのユーザを対象として操作方法を説明しています。

本ドキュメントではトピックは以下のように分類されています。



注意)  
この項目は必ず確認または設定しておいてください。



ヒント)  
操作、設定等に役立つ情報です。



情報)  
参考情報です。

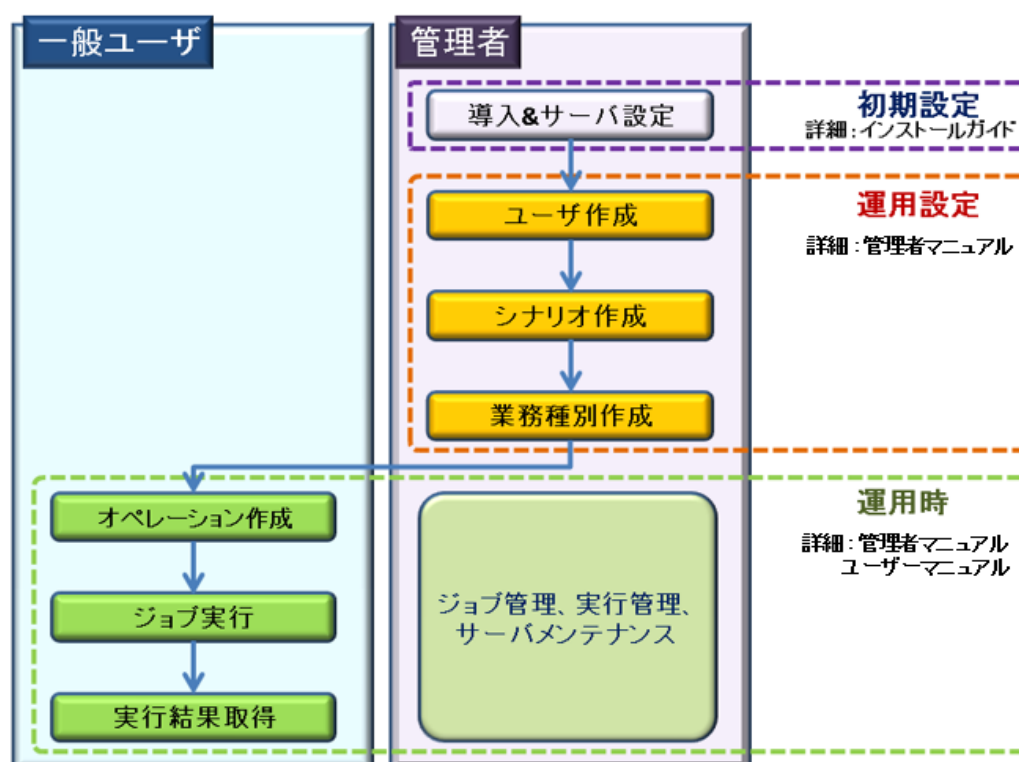
## 1.2. クライアントのシステム要件

	推奨動作環境	必須動作環境
CPU	Core2 Duo E6600同等以上	Pentium M 1.5GHz同等以上
メモリ	1GB以上	512MB以上
ネットワーク接続	100Mbps以上での接続を推奨	10Mbps以上での接続を推奨
ブラウザ	Internet Explorer 11 Microsoft Edge Google Chrome	

ドキュメントモードについて

Internet Explorer 11 を使用している場合であっても、ドキュメントモードが強制的に Internet Explorer 8 に変更されるような環境では、ASFALIS TransServerが正常に動作しない可能性があります。エンタープライズモードを利用している環境や、ドメインのポリシーでドキュメントモードを管理している環境ではこういった現象が発生することがありますのでご注意ください。

## 1.3. 管理者とユーザの役割



管理者が実行できること

- サーバ設定管理  
ASFALIS TransServerの各種設定を変更することができます。
- ユーザ・グループ・権限管理  
ユーザやグループの登録、変更、権限設定が可能です。
- シナリオ管理

実行する処理やパラメータを任意に設定した変換シナリオを作成することができます。  
変換シナリオ作成の他、編集、無効化および取戻しができます。

- 業務種別管理、オペレーション管理  
業務種別とオペレーションの登録、設定変更、無効化および取戻しが可能です。
- ジョブ・履歴管理  
全ユーザのジョブを表示し、実行/停止、優先度変更、削除および取戻しが可能です。
- ジョブ実行  
ジョブを登録し、実行させることができます。

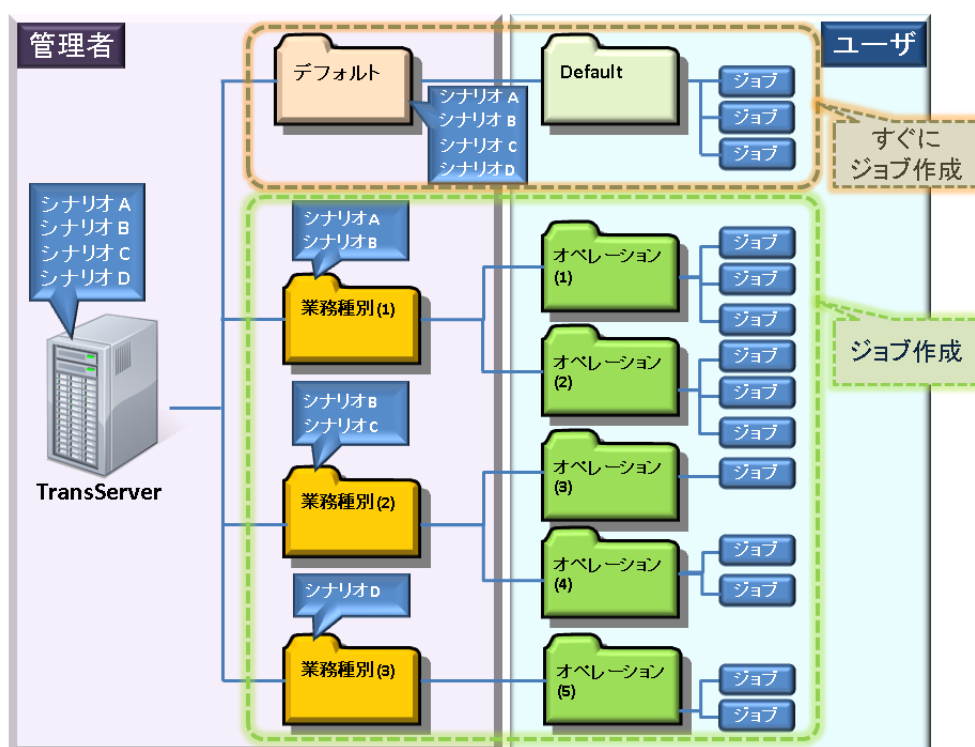
#### ユーザが実行できること

- オペレーション作成  
既存の業務種別に属するオペレーションを作成することができます。
- シナリオのパラメータ変更（シナリオで許可されている場合）  
管理者が作成した変換シナリオ内で許可されている場合は、ジョブ作成時に変換パラメータを変更することができます。
- ジョブ実行  
ジョブを登録し、実行させることができます。



業務種別とオペレーションの関係については、「1.4, “業務種別とオペレーションによるジョブ管理”」をご参照ください。

## 1.4. 業務種別とオペレーションによるジョブ管理



- ジョブ

「ジョブ」は変換の単位です。それぞれのジョブには変換元の3次元データ、変換結果、ログ、変換の各段階の結果が含まれています。ジョブが失敗した場合は、ログや途中のプロセスが作成したファイルを確認することができます。

#### ・業務種別

ジョブや実行結果を整理するために、ジョブを格納するフォルダに該当する機能が用意されています。「業務種別」はその第一階層のフォルダです。

「業務種別」は通常、部署やグループ別に作成/設定します。

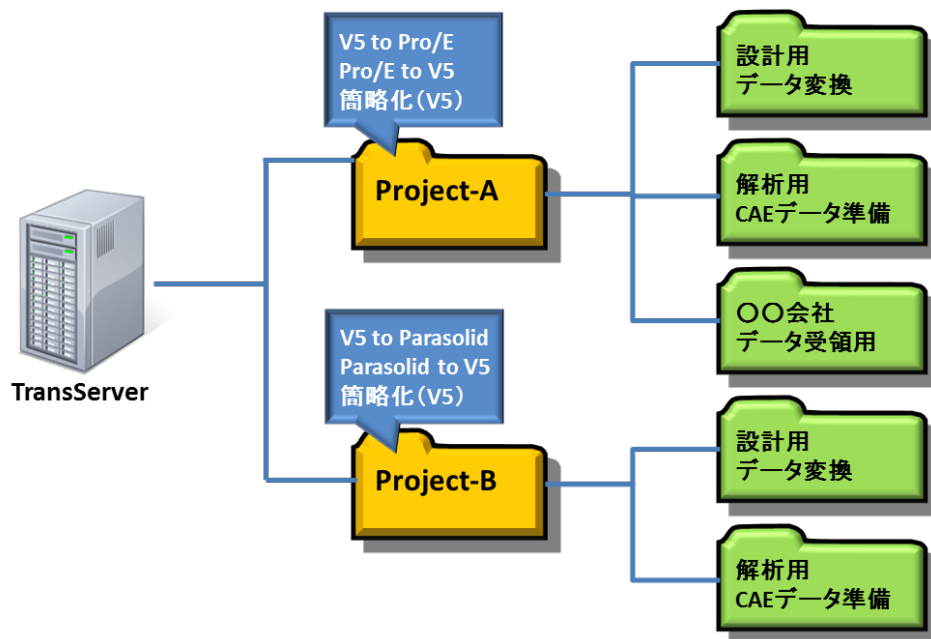
#### ・オペレーション

ユーザは「業務種別」を選択し、その下の階層としてジョブを保存する「オペレーション」を作成することができます。

「オペレーション」は、プロジェクトや業務別に登録します。

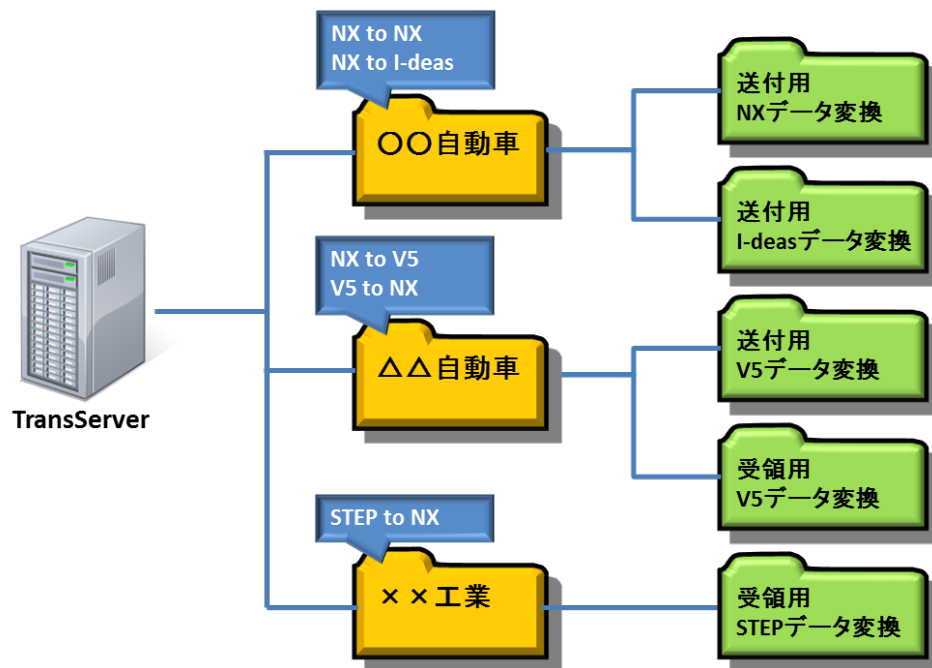
。業務種別/オペレーションの使用例 (1)：

目的	プロジェクトと変換用途によってジョブを管理します。
設定	プロジェクト毎の業務種別を作成します。各業務種別は、該当プロジェクト関係者が使用できるように設定します。各業務種別の下に用途別のオペレーションを作成します。



。業務種別/オペレーションの使用例 (2)：

目的	取引先と変換用途によってジョブを管理します。
設定	取引先毎の業務種別を作成します。各業務種別の下に用途別のオペレーションを作成します。



- 新規ジョブ

ユーザは2通りの方法でジョブを作成することができます。

「すぐにジョブ作成」では既定の業務種別、オペレーションである「デフォルト」および「Default」が使用されます。特定の業務種別、オペレーションに属さない暫定的なジョブを実行する際に使用します。

「ジョブ作成」では業務種別、オペレーションを指定してジョブを作成、実行します。

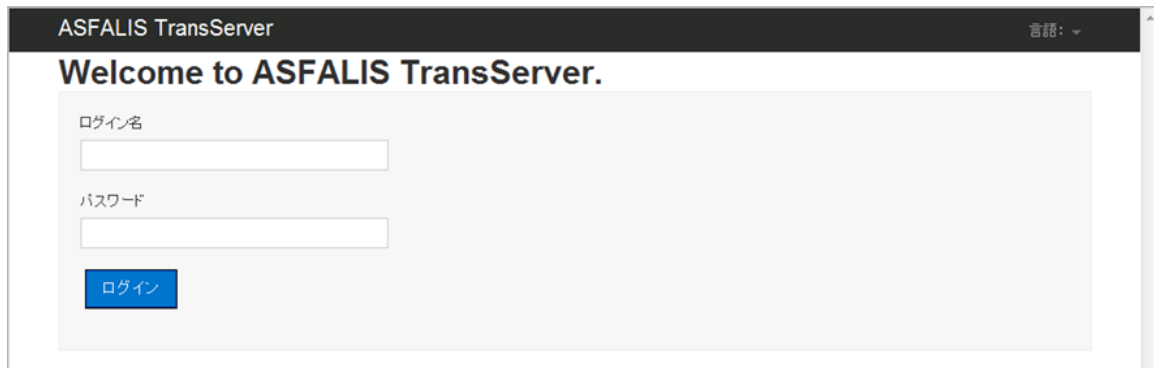


## 2. クイックスタート

### 2.1. ログイン / ログアウト / ユーザ設定

#### 2.1.1. ログイン

ブラウザでASFALIS TransServerのログイン画面を開きます。ログイン名とパスワードを入力し[ログイン]ボタンを押してください。



The screenshot shows the login page of ASFALIS TransServer. At the top, there's a header with 'ASFALIS TransServer' and a language dropdown. Below the header, it says 'Welcome to ASFALIS TransServer.' There are two input fields: 'ログイン名' (Login Name) and 'パスワード' (Password). Below these fields is a blue 'ログイン' (Login) button.



URLとログイン名、パスワードは御社内の本システム管理者にお問い合わせください。

#### 2.1.2. ログアウト

画面右上の[(ユーザ名)] - [ログアウト]メニューを選択してください。ログイン済みのユーザからログアウトし、ログイン画面に戻ります。

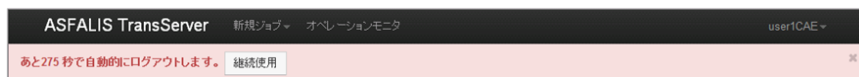


The screenshot shows the main menu of ASFALIS TransServer. The header includes 'ASFALIS TransServer', '新規ジョブ' (New Job), and 'オペレーションモニタ' (Operation Monitor). Below the header, there's a '新規オペレーション作成' (Create New Operation) button and a search bar. The main content area is titled 'オペレーションモニタ'. On the right side, there's a user dropdown menu showing 'user1CAE'. The dropdown menu has three options: 'ユーザ設定' (User Settings), 'ログアウト' (Logout), and 'ヘルプ' (Help). The 'ログアウト' option is highlighted with a red box. Below the menu, there's a table with columns: ID, オペレーション名 (Operation Name), 業務種別名 (Business Type Name), 登録日時 (Registration Date/Time), 作成者 (Creator), 完了/総数 (Completed/Total), and a status icon. The table has two rows: one for 'for Plastic flow CAE' and one for 'Default'.

ID	オペレーション名	業務種別名	登録日時	作成者	完了/総数	
3	for Plastic flow CAE	for CAE	05/01 16:58	user1CAE	1/1	➡ ✕
1	Default	デフォルト	05/01 09:29	匿名ユーザ	2/2	➡



1. ブラウザを終了させてもログアウトは行われません。その場合、他マシンから該当ユーザでのログインを行うことができません。自動ログアウトが行われるまで待つか、再度同じマシンでサーバにアクセスし、ログアウトを行ってください。
2. 自動ログアウトについては、デフォルトで下記のとおり動作します。自動ログアウトの秒数は管理者のみが変更可能です。
  - i. アイドル状態が300秒続くと、ログアウトを促されます。
  - ii. ログアウトを促された状態から600秒の間何も指示がないと、自動でログアウトされます。



### 2.1.3. ユーザ設定

自分のユーザ設定を変更することができます。

1. 画面右上の[(ユーザ名)] - [ユーザ設定]メニューを選択します。



2. 隣に✎マークが付いている項目を変更します。





- メールアドレス：シナリオでメール送信が指定されている場合、ジョブ実行完了後、ASFALIS TransServerからメールが送信されます。
- タイムゾーン：ローカルのタイムゾーンを設定してください。ログインしているユーザのタイムゾーンに従って時刻が表示されます。
- 言語優先度：優先言語を上側に設定してください。
- スタートアップオペレーションID：特定のオペレーションをトップ画面に表示したい場合、そのIDを指定します。IDはオペレーションモニタから確認することができます。設定されている場合は、画面上部の[オペレーションモニタ]がプルダウンメニューに変わり、メニュー内に[オペレーションモニタ]と[マイオペレーション]のリンクが表示されます。

## 2.2. ジョブ実行

### 2.2.1. 新規ジョブの作成

ユーザは「すぐにジョブ作成」、「ジョブ作成」の二通りの方法でジョブを作成することができます。業務種別、オペレーションに属さない暫定的なジョブを実行する際には「すぐにジョブ作成」を利用することを推奨します。本章では「すぐにジョブ作成」を実行します。

1. [新規ジョブ] - [すぐにジョブ作成]メニューを選択します。



「すぐにジョブ作成」では業務種別、オペレーションともに「デフォルト」が使用されます。業務種別、オペレーションに属さない暫定的なジョブを実行する際に使用します。

2. 「シナリオ設定」から「新規にシナリオを設定する」を選択し、シナリオ選択プルダウンから実行するシナリオを選択します。

ASFALIS TransServer 新規ジョブ オペレーションモニタ

## 新規ジョブ作成

新規オペレーション作成

投入先選択 業務種別選択 オペレーション選択

デフォルト デフォルト

シナリオ設定

- ☒ 新規にシナリオを設定する
- ☐ 既存ジョブの設定を流用する
- ☐ 既存ジョブをパラメータを変えて再実行する

シナリオ選択

すべてのシナリオ

シナリオを選択してください

シナリオを選択してください

ACIS file check

BigDataValidation

CAD比較(V5-NX)

IGES to Parasolid

NXtoV5

V5toNX



シナリオグループを選択しておけば、プルダウンメニューに表示されるシナリオがフィルタリングされます。シナリオが多数ある場合に便利です。

ASFALIS TransServer 新規ジョブ オペレーションモニタ

## 新規ジョブ作成

新規オペレーション作成

投入先選択 業務種別選択 オペレーション選択

デフォルト デフォルト

シナリオ設定

- ☒ 新規にシナリオを設定する
- ☐ 既存ジョブの設定を流用する
- ☐ 既存ジョブをパラメータを変えて再実行する

シナリオ選択

Scenario Group1

シナリオを選択してください

シナリオを選択してください

BigDataValidation

IGES to Parasolid



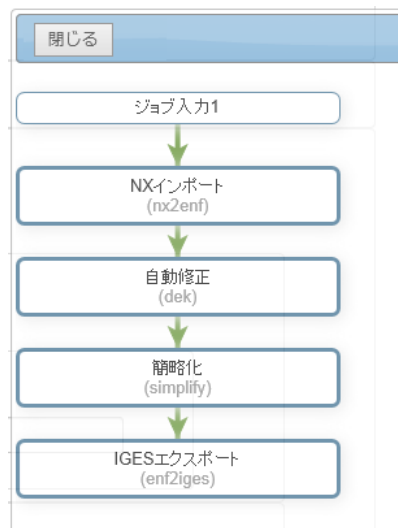
シナリオは入力されたモデルをどのように処理するかを規定したものです。シナリオを作成するためには、それを構成するコンポーネントとコンポーネントパラメータについて理解する必要があります。新しいシナリオが必要な場合には、システム管理者に連絡してください。

- シナリオを選択すると、パラメータ設定欄、入力ファイル設定欄、シナリオフローチャートが表示されるので、必要に応じてパラメータを設定します。文字列または アイコンをクリックして、コンポーネントおよびパラメータ設定欄を確認することができます。



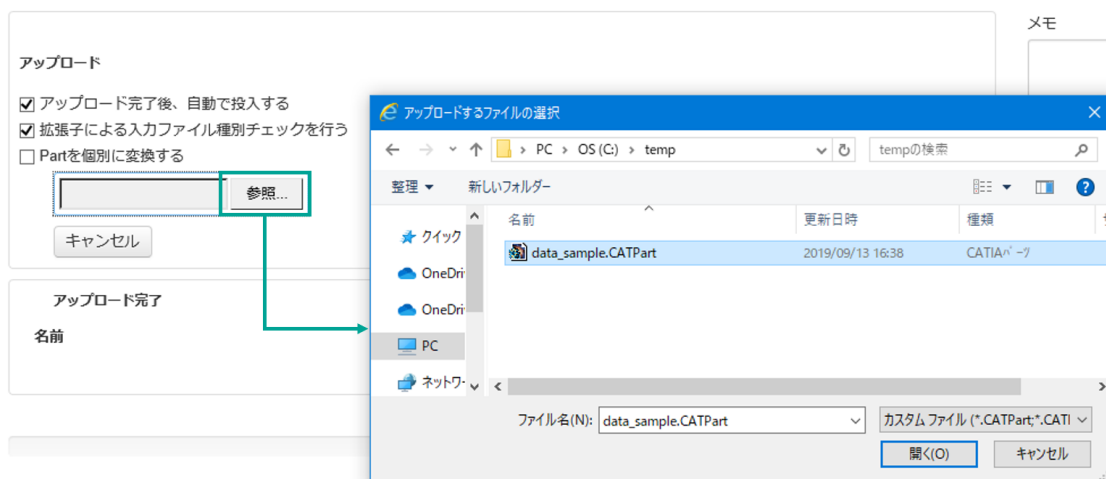
ジョブ投入に用いるシナリオのコンポーネントフローが、ブラウザ右中央に表示されます。CAD 比較などジョブ入力複数になるシナリオの入力ファイルのフローを確認するのに便利な機能です。

[Hide/Show] をクリックして表示/非表示を切り替えることもできます。



#### 4. 入力ファイルを設定します。

[ローカルファイルアップロード] タブの [参照] を押し、入力ファイルを選択します。「アップロード完了後、自動で投入する」にチェックが入っている場合、ファイルのアップロードが完了すると自動でジョブ投入が行われます。



- 。「アップロード完了後、自動で投入する」  
チェックが入っている場合、ファイルのアップロードが完了すると自動でジョブ投入が行われます。ジョブを自動で開始させず、アップロードされたファイルを確認した後にジョブを開始させる場合は、チェックを外してください。
- 。「Partを個別に変換する」  
複数パートモデルをzipファイルで一括アップロードする場合にチェックを入れます。
- 。複数モデルの一括アップロードやアセンブリモデルをアップロードするにはファイルをzipする必要があります。入力ファイルの条件、作成方法については「2.4, “入力ファイル / アップロード対象ファイルの条件”」をご参照ください。

## 2.2.2. 変換後ファイルのダウンロード

1. [オペレーションモニタ]ページで、オペレーション名「Default」を選択します。



2. 入力ファイル名を選択します。

ASFALIS TransServer 新規ジョブ オペレーションモニタ user1CAE

## オペレーション詳細

デフォルト / Default

オペレーションID  
1

オペレーション属性一覧  
なし

権限設定

ユーザ名/グループ名	参照	ダウンロード	更新削除
CAE	✓	✓	✓

① ダウンロード ② 中止 ③ 削除 表示件数 10

ジョブID	入力ファイル	登録日時	作成者	シナリオ	ステータス
4	<b>data_sample_3.prt</b>	08/30 18:03	user1CAE	NX to IGES + simp for CAE	正常終了
3	data_sample_2.prt	08/30 18:03	user1CAE	NX to IGES + simp for CAE	正常終了



オペレーション詳細内のジョブは、登録日時が新しい順に並びます。

3. 出力ファイルを選択し、プルダウンからダウンロードを選択します。

### コンポーネントステータス

① 出力ファイルダウンロード ② ログダウンロード ③ すべて開く ④ すべて閉じる

詳細	出力ファイル	ログ
<input type="checkbox"/> <b>NXインポート</b> nx2enf NXからENFへの変換 ステータス 正常終了 メッセージ	data_sample_3.enf	data_sample_3.log data_sample_3_log.xml
<input type="checkbox"/> <b>自動修正</b> dek 変換のため、三次元形状を自動で修正します。 ステータス 正常終了 メッセージ ● コンポーネントパラメータ 変換先CAD iges : IGESへ	data_sample_3.enf	data_sample_3.log data_sample_3_log.xml
<input type="checkbox"/> <b>簡略化</b> simplify 簡略化 ステータス 正常終了 メッセージ ● サブコンポーネント フィレットを消去 simplify_removefillet フィレットを消去します ● サブコンポーネントパラメータ	data_sample_3.enf	data_sample_3.log data_sample_3_log.xml
<input type="checkbox"/> <b>IGESエクスポート</b> enf2iges ENFからIGESへの変換 ステータス 正常終了 メッセージ	data_sample_3.iges <b>ダウンロード</b>	data_sample_3.log data_sample_3_log.xml

このファイルで新規ジョブを投入する

ログや変換の各段階の結果ファイルをダウンロードすることもできます。  
変換ジョブが失敗した場合はログファイル等をダウンロードし、御社内の本システム管理者にお問い合わせください。

ジョブステータスおよびコンポーネントステータス



未処理	ジョブ、コンポーネントの変換処理の開始待ちの状態 前段階のコンポーネントが異常終了/強制終了し変換処理が行われなかった状態
処理中	変換処理が行われている状態
正常終了	変換処理が正常に終了した状態
異常終了	変換処理が失敗した状態
強制終了	変換処理がユーザまたは管理者により強制的に終了された状態

## 2.3. 入力ファイル設定

入力ファイルの設定には「ローカルファイルアップロード」「既存のファイルセットから選択」「外部ファイルサーバより選択」の3通りの方法があります。

### 2.3.1. 「ローカルファイルアップロード」タブ

ユーザが新規に入力ファイルを指定する場合、「ローカルファイルアップロード」タブでファイルをアップロードし、投入します。複数モデルの一括アップロードや1モデルが複数ファイルで構成されるモデルをアップロードする場合は、ファイルをzip形式で圧縮します。アップロードするファイルの種類によって方法が異なります。

☒ ローカルファイルアップロード
 ☐ 既存のファイルセットから選択
 ☐ 外部ファイルサーバより選択

アップロード

☒ アップロード完了後、自動で投入する
 ☒ 拡張子による入力ファイル種別チェックを行う
 ☐ Partを個別に変換する

選択されていません

アップロード完了

名前	サイズ	
		✕



### 2.3.2. 「既存のファイルセットから選択」タブ

過去に実行されたジョブの入力ファイルを入力ファイルとして指定することが可能です。過去の入力ファイルは登録日やオペレーションなどから検索することができます。

1. 既に実行したジョブを、ファイル名、オペレーション名等を用いて検索します。
2. ファイルを選択し[投入]を押してジョブを実行します。

入力ファイル設定  
ジョブ入力 1  
nx2enf-入力nxファイル

ローカルファイルアップロード 既存のファイルセットから選択 外部ファイルサーバより選択

ファイル名: \*sample\*  
メモ(ジョブ):  
オペレーション名:  
入出力種別: すべて  
ファイル登録日時: 指定しない

検索

表示件数: 10

トップファイル名	含まれるファイル数	オペレーション名	メモ(ジョブ)	入出力種別	ファイル登録日時
data_sample_3.prt	1	Default		入力	02/16 18:42
data_sample_2.prt	1	Default		入力	02/16 18:42
data_sample_1.prt	1	Default		入力	02/16 18:42

入力モデル

トップファイル名	含まれるファイル数	オペレーション名	メモ(ジョブ)	入出力種別	ファイル登録日時
data_sample_1.prt	1	Default		入力	02/16 18:42

投入 キャンセル

### 2.3.3. 「外部ファイルサーバより選択」タブ

適切に設定された外部ファイルサーバ上のファイルを入力ファイルとして指定することが可能です。外部ファイルサーバ内のファイルを選択し、投入して下さい。

1. プルダウンから外部ファイルサーバを選択します。
2. ファイルを選択し、[登録]ボタンを押します。アセンブリモデルの場合は構成ファイルを全て登録します。
3. 入力ファイルとするトップファイルを選択し、[投入]を押します。

入力ファイル設定  
ジョブ入力 1  
nx2enf-入力nxファイル

ローカルファイルアップロード 既存のファイルセットから選択 外部ファイルサーバより選択

server

外部ファイルサーバ側モデル

リロード nx / data / 10

ファイル名	ファイルサイズ	ファイル登録日時
data_sample_1.prt	120KB	10/11/25 15:58:33
data_sample_2.prt	148KB	12/01/25 11:57:29
data_sample_3.prt	172KB	12/06/20 15:35:56

↓登録

入力モデル

トップファイル	ファイル名	ファイルサイズ	相対パス
●	data_sample_1.prt	120KB	nx/data

▶ 投入 × キャンセル



「外部ファイルサーバより選択」タブで一度に投入できるのは1モデルのみです。

## 2.3.4. 複数のジョブ入力を受け取るシナリオからジョブ投入する場合

複数のジョブ入力を受け取るシナリオからジョブ投入する場合、入力ファイル設定欄が複数行表示されます。

シナリオフローチャートを用いて、ジョブ入力を受け取るコンポーネントを確認してください。

入力ファイル設定  
ジョブ入力 1  
catiaV52enf-入力catiaV5ファイル

ローカルファイルアップロード 既存のファイルセットから選択 外部ファイルサーバより選択

アップロード

ファイル選択 選択されていません

アップロード完了

名前 サイズ

ジョブ入力 2  
catiaV52enf2-入力catiaV5ファイル

ローカルファイルアップロード 既存のファイルセットから選択 外部ファイルサーバより選択

アップロード

ファイル選択 選択されていません

アップロード完了

名前 サイズ

シナリオフローチャート

```

graph TD
    JobInput1[ジョブ入力1] --> CATIA1[CATIA V5インポート  
(catiaV52enf)]
    JobInput2[ジョブ入力2] --> CATIA2[CATIA V5インポート  
(catiaV52enf2)]
    CATIA1 --> ShapeCompare[形状比較  
(geomdiff)]
    CATIA2 --> ShapeCompare
  
```



複数のジョブ入力を受け取るシナリオからジョブ投入する場合、それぞれの入力に1モデルのみを投入することができます。

## 2.4. 入力ファイル / アップロード対象ファイルの条件

ファイル名には、以下の文字を使用することはできません。

- Windowsファイル名使用禁止文字  
\\/:\*?"<>|

マルチバイト文字、半角カナ文字は使用可能ですが、CAD側の制限がある場合は使用することができません。

複数モデルの一括アップロードや1モデルが複数ファイルで構成されるモデルをアップロードする場合は、ファイルをzip形式で圧縮します。アップロードするファイルの種類によって方法が異なりますので、次節以降をご参照ください。

- [2.4.1, “モデルのアップロード \(NX I-deas以外\)”](#)
- [2.4.2, “モデルのアップロード \(NX I-deas\)”](#)
- [2.4.3, “アーカイブファイルのアップロード”](#)



JTファイル、STEPファイルは、アセンブリモデルを単一ファイルで持つことも複数ファイルで持つこともできますが、ASFALIS TransServerのデフォルトでは単一ファイルのみがサポートされています。複数ファイル形式を使用する場合は、設定変更が必要です。管理者へお問い合わせください。



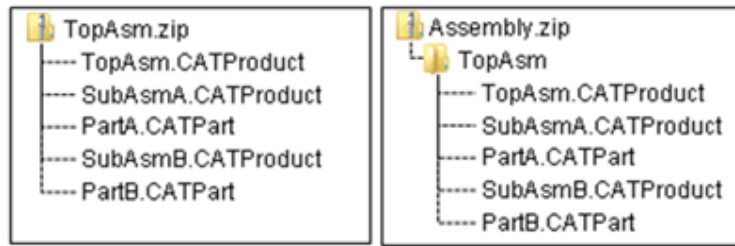
アップロードするファイルを選択するダイアログでアップロードしたいファイルが表示されない場合、ファイルの種類を『すべてのファイル』にすると表示されるようになります。

### 2.4.1. モデルのアップロード (NX I-deas以外)

#### A) アセンブリモデルをアップロードする

CATIA V5, NX, Creo Parametric, Inventor, SOLIDWORKSでは、アセンブリモデルは複数のファイルに保存されます。このような場合、下記のように作成したzipファイルをアップロードします。

1. 以下のいずれかの方法でzipファイルを作成します。
  - a. アセンブリを構成する全てのファイルを含むzipファイルを作成します。zipファイル名は、<トップアセンブリファイル名>.zipとします。
  - b. アセンブリを構成する全てのファイルをトップアセンブリファイル名と同名のフォルダ以下に配置し、フォルダをzip圧縮します。この場合zipファイル名は任意です。



2. 「Partを個別に変換する」のチェックをはずし、zipファイルをアップロードします。



- ASFALIS TransServer では、ZIP ファイルに含まれるファイル群からアセンブリ構造を推定することができます。
- ZIP ファイル直下にファイルがある場合は ZIP ファイルの名前から .zip を取り除いた名前を、フォルダ構造がある場合にはファイル群の最上位のフォルダ名を基準にトップアセンブリファイルを推定します。
- このルールに基づいて決まった文字列と完全一致する名前のファイルがある場合、そのファイルをトップアセンブリとします。文字列と完全一致する名前のファイルが無い場合、文字列との類似度が最大になる（補注 レーベンシュタイン距離が最小になる）名前のファイルをトップアセンブリとします。

#### B) 1パートモデルを複数、一括アップロードする

ファイルダイアログでファイルを複数選択するか、変換対象ファイルをzipファイルにまとめてアップロードします。zipファイルは以下のように作成します。

1. アップロードするパートファイルを全て含むzipファイルを作成します。zipファイル名は任意です。



2. 「Partを個別に変換する」にチェックを入れ、zipをアップロードします。

## 入力ファイル設定

ジョブ入力 1

catia52enf-入力catia5ファイル

ローカルファイルアップロード

既存のファイルセットから選択

外部ファイルサーバより選択

## アップロード

ファイル選択

選択されていません

☒ アップロード完了後、自動で投入する

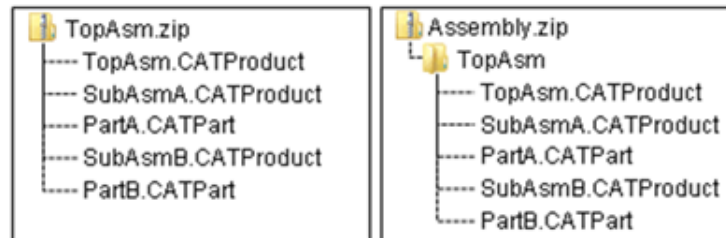
キャンセル

☒ 拡張子による入力ファイル種別チェックを行う☒ Partを個別に変換する

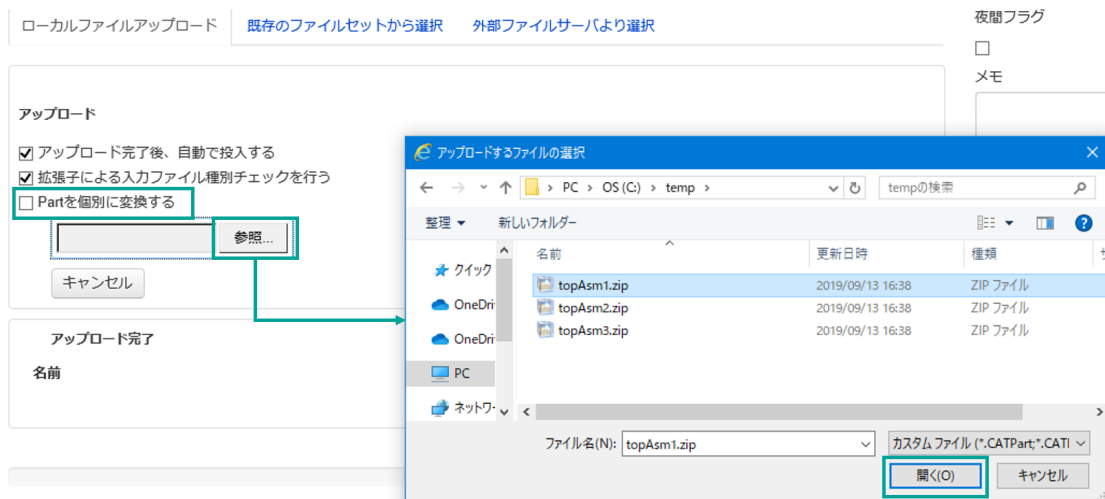
「Partを個別に変換する」のチェックが入っていない場合、zip内の1ファイルのみが投入の対象となります。対象のファイルはトップアセンブリを決定する際と同じ方法で決定されます。

## C) アセンブリモデルを複数、一括アップロードする

1. モデルごとにA)と同様のzipファイルを作成します。



2. 「Partを個別に変換する」のチェックをはずし、zipファイルを複数選択しアップロードします。



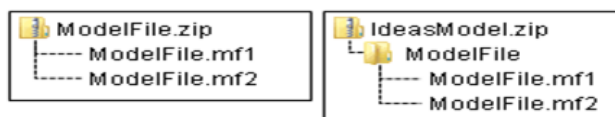
## 2.4.2. モデルのアップロード (NX I-deas)

NX I-deasは、アセンブリモデル、パートのみのモデルのどちらでも、1モデルがmf1, mf2の2ファイルで保存されます。この2ファイルを含むzipファイルを作成し、zipファイルをアップロードします。

## D) モデルをアップロードする

1. zipファイルを作成します。

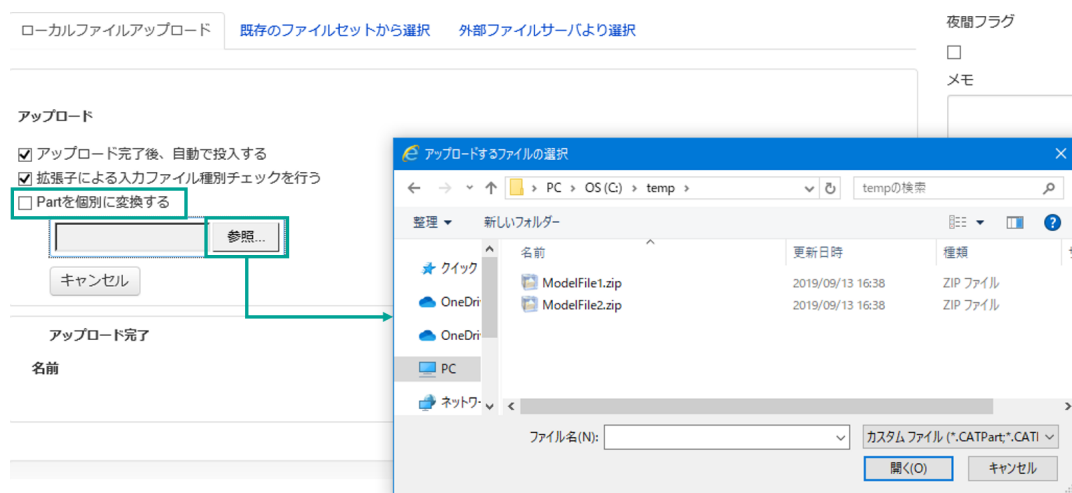
- a. mf1, mf2の2ファイルを含むzipファイルを作成します。zipファイル名は<ファイル名>.zipとします。
- b. mf1, mf2の2ファイルを、ファイル名と同名のフォルダ以下に配置し、フォルダをzip圧縮します。この場合zipファイル名は任意です。



2. 「Partを個別に変換する」のチェックをはずし、zipファイルをアップロードします。

#### E) 複数モデルの一括アップロード

1. モデルごとにD)と同様のzipファイルを作成します。
2. 「Partを個別に変換する」のチェックをはずし、zipファイルを複数選択しアップロードします。



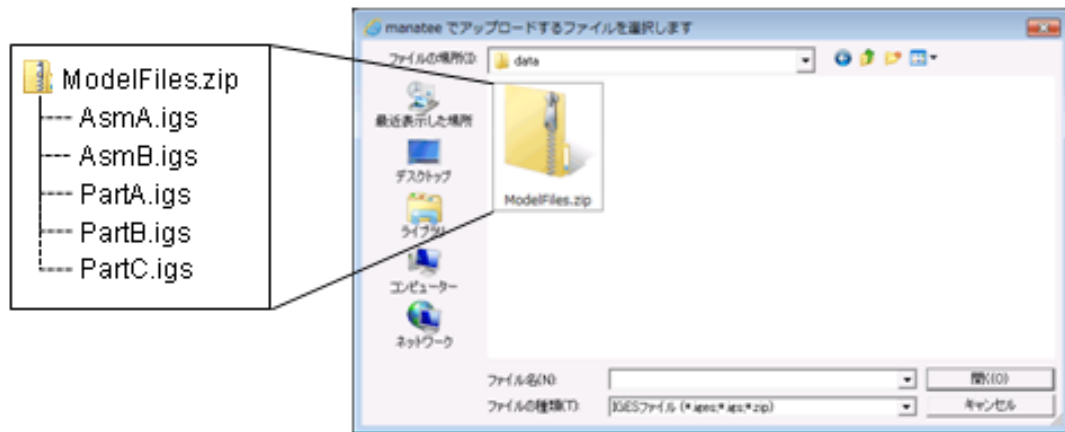
### 2.4.3. アーカイブファイルのアップロード

ACIS, IGES, Creo Elements/Direct, JT, STEP, Parasolid, CATIA V4のファイル、NX I-deasアーカイブファイルは、1パートモデルもアセンブリモデルも単一のファイルで持ちます。

#### F) 複数モデルの一括アップロード

ファイルダイアログでファイルを複数選択するか、変換対象ファイルをzipファイルにまとめてアップロードします。zipファイルは以下のように作成します。

1. アップロードするファイルを全て含むzipファイルを作成します。zipファイル名は任意です。
2. 作成したzipをアップロードします。



ファイルダイアログの「ファイルの種類」は、選択したシナリオの入力システムのファイルになります。しかしながらzipファイルをアップロードする場合は、間違ったシステムのファイルをアップロードしてしまう可能性があり、変換トラブルの原因になる可能性があります。zipファイルをアップロードする際は、ファイルの種類とzipファイルの中身を充分に確認してください。

## 3. 便利な機能の紹介

### 3.1. ジョブの投入方法

3種類のシナリオ設定方法から最適な方法を選択することで、より簡単にジョブを投入することができます。以下、3種類のシナリオ設定方法について説明します。

	シナリオ	入力ファイル
新規にシナリオを設定する	選択可能	新規にアップロード可能
既存ジョブの設定を流用する	選択した既存ジョブのシナリオ	
既存ジョブをパラメータを変えて再実行する		選択した既存ジョブの入力ファイル

#### 3.1.1. 新規にシナリオを設定する

新規シナリオを選択してパラメータを設定した上で、ジョブを投入します。

#### 3.1.2. 既存ジョブの設定を流用する

以下の2通りの方法で、過去に実行したジョブの設定を使用し、別のファイルを入力ファイルとしてジョブを投入することができます。

- A) [新規ジョブ]メニューから設定
- B) ジョブ詳細ページのメニューから設定

それぞれのメニューからの設定方法を説明します。

##### A) [新規ジョブ]メニューから設定する方法

1. [新規ジョブ] - [すぐにジョブ作成]メニューを選択し、シナリオ設定で「既存ジョブの設定を流用する」を選択します。
2. [既存ジョブ選択] からジョブを選択します。



3. [パラメータ設定]をクリックして、パラメータ設定の変更・シナリオフローチャートを確認します。

4. 新しい入力ファイルをアップロードします。

## B) ジョブ詳細ページのメニューから設定する方法

1. [オペレーションモニタ]ページからオペレーション、ジョブを選択し、ジョブ詳細ページへ移動します。ジョブ詳細ページ右上のプルダウンメニューから[再利用] - [設定を再利用]を選択します。



### 3.1.3. 既存ジョブをパラメータを変えて再実行する

過去に実行したジョブとデータを利用して新しいジョブを実行することができます。その際、パラメータを変更することができます。

- A) [新規ジョブ]メニューから設定
- B) ジョブ詳細ページのメニューから設定

それぞれのメニューからの設定方法を説明します。

#### A) [新規ジョブ]メニューから設定する方法

1. [新規ジョブ] - [すぐにジョブ作成]メニューを選択し、シナリオ設定で「既存ジョブをパラメータを変えて再実行する」を選択します。
2. [既存ジョブ選択]からジョブを選択します。



3. [パラメータ設定]をクリックして、パラメータ設定の変更・シナリオフローチャートを確認します。



4. [投入]を押します。入力ファイルは選択した既存ジョブの入力ファイルで、変更することはできません。

## B) ジョブ詳細ページのメニューから設定する方法

1. [オペレーションモニタ]ページからオペレーション、ジョブを選択し、ジョブ詳細ページへ移動します。



2. ジョブ詳細ページ右上のプルダウンメニューから[再利用] - [このジョブを再投入する]を選択するか、オペレーション詳細ページでジョブ列右側の (🔗) アイコンを選択します。



その後の操作はA)の手順3と同様です。

## 3.2. ジョブの投入方法

### 3.2.1. オペレーションの作成

1. オペレーションモニタから[新規オペレーション作成]を押します。



2. 業務種別を選択、オペレーション名を入力し、[登録]を選択します。



登録後、自動でオペレーション詳細ページに移動します。

### 3.2.2. オペレーションモニタ

"オペレーションモニタ"のページでは、オペレーションを確認し、該当のオペレーション以下に新規

ジョブを作成することができます。オペレーション名をクリックすると、オペレーション詳細ページへ移動します。ジョブの確認と既存ジョブの再実行が可能です。

1. [オペレーションモニタ]を選択します。オペレーション名がリストで示されます。
2. ジョブを作成したいオペレーション列右側の ➡ アイコンを選択します。



3. 新規ジョブ作成画面に遷移します。業務種別とオペレーションは既に選択された状態です。シナリオを選択し、データをアップロードします。



## オペレーションのアーカイブと取戻し

ASFALIS TransServerを継続して使用していると、オペレーションモニタには多数のオペレーションが表示されるようになります。「アーカイブ」機能を使用するとユーザにとって表示する必要の無いオペレーションを隠すことができます。アーカイブされたオペレーションは、意図して検索しない限り表示されなくなり、ジョブ作成の際、ジョブ投入先に指定することもできなくなります。

「取戻」機能でアーカイブされた状態から元の状態に戻すことができます。該当オペレーションをアーカイブするか否かは各ユーザが個別に設定可能で他のユーザの設定とは連動しません。



ASFALIS TransServer 新規ジョブ オペレーションモニタ user1CAE

### オペレーションモニタ

新規オペレーション作成 オペレーション名 🔍

すべて

✖ アーカイブ ✔ 取戻し 無効化 取戻し 表示件数 10

<input type="checkbox"/>	ID	オペレーション名	業務種別名	登録日時	作成者	完了/総数	
<input type="checkbox"/>	6	For Manufacturing Line Study	For Mechanical Design	01/14 22:40	管理者 (admin)	0/0	➡ ✖ 🔍
<input type="checkbox"/>	5	For Manufacturing Study	For Mechanical Design	01/14 22:39	管理者 (admin)	0/0	➡ ✖ 🔍
<input type="checkbox"/>	1	デフォルト	デフォルト	10/31 09:59	匿名ユーザ (anonymous)	10/10	➡

アーカイブおよび取戻はアイコンからの変更も可能です。

アーカイブ	✖	取戻	✔
-------	---	----	---

## オペレーションの無効化と取戻し

オペレーションのアーカイブは各ユーザ単位での操作となりますが、全ユーザに対してオペレーションを表示しないようにする場合にはオペレーションを無効化します。オペレーションを無効化すると、意図して検索しない限りすべてのユーザのオペレーション一覧に当該オペレーションが表示されなくなります。また無効化されたオペレーションに対しては一切ジョブを投入することができなくなります。この操作は当該オペレーションに対して無効化の権限をもつユーザのみ実行することができます。なお「取戻し」機能で無効化された状態から元の状態に戻すことができます。



ID	オペレーション名	業務種別名	登録日時	作成者	完了/総数	
6	For Manufacturing Line Study	For Mechanical Design	01/14 22:40	管理者 (admin)	0/0	➡ 無効化
5	For Manufacturing Study	For Mechanical Design	01/14 22:39	管理者 (admin)	0/0	➡ 無効化
1	デフォルト	デフォルト	10/31 09:59	匿名ユーザ (anonymous)	10/10	➡

無効化および取戻しはアイコンからの変更も可能です。

無効化	⊘	取戻	⏪
-----	---	----	---

## 4. ユースケース

### 4.1. 抽出したファイルごとにシナリオを適用する

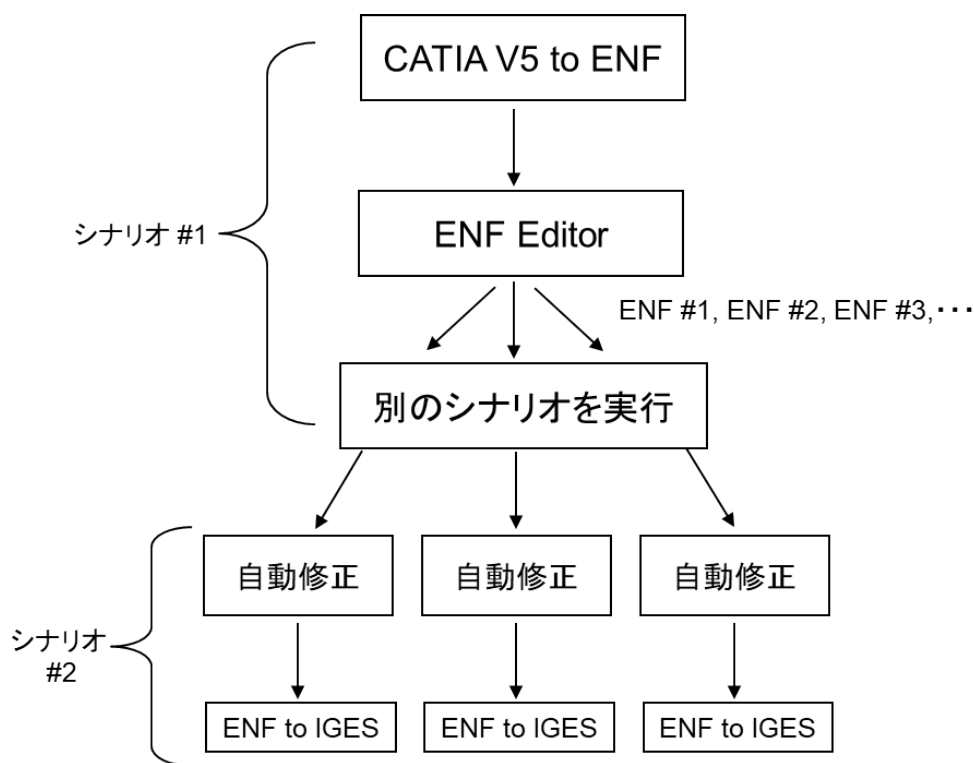
コンポーネント「ENF Editor」と「別のシナリオを実行」を使用することで、以下の条件を満たす変換を1つのシナリオで実行することが可能です。

- 変換対象モデルから必要な部分を抜き出すなどして複数のENFファイルを出力
- それらの複数のENFファイルに対してある1つのシナリオをまとめて適用

以下に例を示します。

#### 4.1.1. CATIA V5 to IGES変換の例

例として以下のようなシナリオによる変換を考えます。



この"シナリオ #1"は以下のようなフローとなっています。

1. CATIA V5 to ENFにてENFを出力
2. ENF Editorにて必要な部分を抽出し、複数ファイル(ENF)を出力
3. それぞれのENFに対して"シナリオ #2" (自動修正+ENF to IGES)を適用

このシナリオに対してジョブを投入すると、ジョブ情報ページにて以下のような変換結果を確認することができます。





## 5. FAQ

**Q1: ASFALIS TransServerのログイン画面が表示されません。**

- URLを再度確認してください。
- URLが問題ない場合、サーバが起動しているか、御社内の本システム管理者にお問い合わせください。

**Q2: ログインできません。**

- ログイン名とパスワードを再確認してください。
- ログイン名とパスワードが問題ない場合、他のPCから同じログイン名でログインした状態になっている、大人数がASFALIS TransServerにログインしており制限人数を超えている等の可能性が考えられます。少し時間をあけて再度ログインをお試しください。
- 時間をあけても解決しない場合、アカウントが無効になっている可能性が考えられます。御社内の本システム管理者にお問い合わせください。

**Q3: メニューなどの表示が何かおかしい。**

- ご使用のブラウザが動作要件に合っているかご確認ください。  
(「[1.2, “クライアントのシステム要件”](#)」をご参照ください。)
- ブラウザが問題ない場合、サーバが正しく動作していない可能性が考えられます。御社内の本システム管理者にお問い合わせください。

**Q4: 使用したいシナリオがない。**

- 御社内の本システム管理者にお問い合わせください。シナリオは管理者だけが作成することができます。

**Q5: データをアップロードできない。**

- 選択したシナリオが意図したものを再確認してください。
- シナリオの設定によってアップロードできるCADデータが異なります。

**Q6: ジョブが処理中にならない。**

- 他のユーザが同時にジョブを実行している可能性があります。その場合はしばらく待ってください。
- オペレーションモニタでジョブのステータスを確認することができます。ジョブの優先度を変更したい場合は管理者に問い合わせてください。

**Q7: ジョブ完了時のメールが届かない。**

- メールを送信するにはメール送信コンポーネントを設定する必要があります。管理者にお問い合わせください。
- ジョブが失敗している可能性があります。管理者にお問い合わせください。

**Q8: 結果が得られない。**

- ジョブが失敗しているか止まっている可能性があります。オペレーションモニタからジョブの

ステータスを確認し、管理者にお問い合わせください。

**Q9:** 変換結果は得られたがアセンブリ中の1パートのみだった。

- アセンブリを変換したい場合はzipファイルを作成してアップロードする必要があります。zipファイルはCADごとに作成方法が異なります。詳細は「[2.3, “入力ファイル設定”](#)」をご参照ください。

**Q10:** マニュアルが古いようだ。

- ブラウザが古いバージョンのTransServerのマニュアルをキャッシュしている可能性があります。ブラウザのキャッシュをクリアして、再度開きなおしてください。

**Q11:** ダウンロードした出力ファイルのzipファイルの中身が文字化けしている。

- zip ファイルを展開する時に使用するエンコーディングを、ユーザ設定画面の「クライアント文字コード」に指定してください。zip ファイルの展開に OS の標準機能を利用する場合、UTF-8 を指定してください。専用のソフトを利用する場合は、そのソフトが利用するエンコーディングに合わせて設定してください。

**Q12:** Internet Explorer からジョブを投入するとエラーが発生して操作不能となる。

- Internet Explorer のドキュメントモードが強制的に Internet Explorer 8 に変更されている可能性があります。エンタープライズモードを利用している環境や、ドメインのポリシーでドキュメントモードを管理している環境ではこういった現象が発生することがあります。システム管理者に連絡し、ASFALIS TransServer のページをドキュメントモード Edge で開くようにしてください。

本コンテンツに関わる著作権は株式会社エリジオンもしくは原権利者に帰属しています。  
著作権者の承諾なしに無断で改変、複製、転載、再配布、転送、公衆送信、販売、貸与などの  
行為をすることは禁じられています。